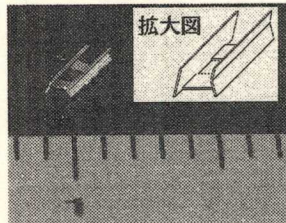


◎新技術

● 超、高精度「順送プレス加工」 JKB(川崎市高津区)は、自社で金型設計・製作する精密プレス部品加工メーカー。従来の「順送プレス加工」で、成形困難だった形状のプレス加工化に成功、注目を集めている。

順送プレスとは、材料となる金属板を自動で送り出しながら、曲げ、絞り、打ち抜きなど、複数工程を一つの機械で加工できるプレス加工の一種。高速



に大量生産できる半面、複雑な形状の加工には適さないとされてきた。

同社では独自の金型設計と微細加工技術によって、この常識を破り、難加工形状をプレス加工で製造している。

「ギネスブックに載るので」と思われるほど小さな部品は、1ミリの幅に納まるコンピューター部品＝写真上。小さいながらも曲げ・抜き加工されている。このほか「真円、の筒の中にV字型に羽根加工された部品」＝写真右、「連続する波型加工」、「エッチング(化学的な表面処理方法)に代替できる微細な穴あけ加工」などが、プレス加工化できたことで、量産化が容易となり、大幅にコストダウンできたという。



同社のもう一つの特徴は、平井和夫社長＝写真下＝が開発したコンピューター生産管理システム。部品在庫の管理だけでなく、仕入れ先の生産能力把握や、部品展開の機械化、歩留まりを考慮し発注するなど、画期的なシステムとして1981年、中小企業庁のコンピューター化モデルの第一位に選定された。大学の授業でも取り上げられ、大手コンピューター会社もこのシステムをモデルとするほど評判になったシステムだという。

今では、プレス機械にコンピューターを搭載、ネットワーク化し、「誰がどの機械で、何をいくつ作り、いつ生産が終わるか」をリアルタイムで把握できるシステムを構築している。「順送プレス部品の製造が事業の柱ですが、将来、生産管理システムの外販も検討しています」と平井社長は語っている。

テレビ会社でコンピューターグラフィックを担当していた子息の圭一郎氏が社業に加わり、さらに先を行く生産管理システムの開発に、力を注ぐ考えた。

株式会社JKB 〒213-0033、川崎市高津区下作延747の9。☎044(888)1121、URLは<http://www.jkb-net.co.jp/>

(情報提供・川崎市産業振興財団)

神奈川 新 THE KANAGAWA 聞

2007年 [平成19年] 9 / 2 [日曜日]

先負